

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
特別演習 2											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	瀧川 慧			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て本校の教師になる。建築設計や BIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。											
授業概要											
大田区に関連する方々に特別講師としてご登壇いただき、地域を知る・地域の問題解決の意識を高める講義を行い、まちづくりの最先端の事例について学ぶ。また、大田区地域のイベント等にボランティア参加して地域住民と接し地域貢献する意義について学ぶことが学習目的である。											
到達目標											
この科目では、大田区地域の都市計画・防災・観光的観点からの特別講義や電鉄・施工・住宅系の民間企業の方からの特別講義をきっかけにして、地域に根差した建築設計のあり方を考える。並行して設計課題に取り組むことで、自己の作品に深みを与えると共に地域に根差した建築のあり方に関する知識を得て今後も学びを深めてもらうことが到達目標である。											
授業方法											
・基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う ・解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける ・応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う ・動画等を用いて、最新技術の紹介を行う											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業で使用するデータは各自USBメモリやクラウドなどによって適切に管理すること。説明中や授業と関係のない私語、受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題提出はデータにより行い、コピーなどによる不正な提出データはカンニング扱いとし採点されない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位取得することができない。											
教科書教材											
資料などプリント配布											
回数	授業計画										
第1回	ボランティア 1 （授業振替実施） 大田区ボランティア参加(予定)										
第2回	大田まちづくり学 大田区防災まちづくり課 大田区の防災とまちづくりについて										
第3回	大田まちづくり学 大田観光協会 大田区の地域資源について										
第4回	事例紹介 1 地域に根差した建築事例の紹介（見学会）										

第5回	大田まちづくり学 建築家による 地域に根差した居場所づくり
-----	-------------------------------

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
特別演習 2	
第6回	大田まちづくり学 防災まちづくり 都市防災の観点から
第7回	ボランティア 2 (授業振替実施) 大田区出張所 オープニング参加ボランティア
第8回	大田まちづくり学 電鉄会社のまちづくり
第9回	大田まちづくり学 地元建設業の取り組み
第10回	大田まちづくり学 企業ショールーム見学(予定)
第11回	企業課題バックアップ 地域で学んだことを活かし発表会に向けた作品制作
第12回	企業課題バックアップ 地域で学んだことを活かし発表会に向けた作品制作
第13回	産学連携課題展示会 準備、展示会、講評会、片づけ、地域に向けて情報発信